

2. 人口減少・人口流出について

問9 人口減少・人口流出問題の施策

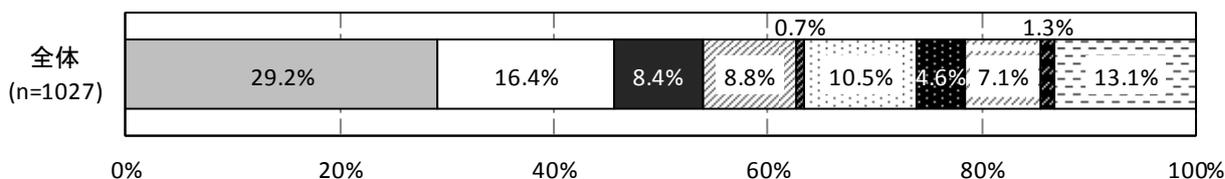
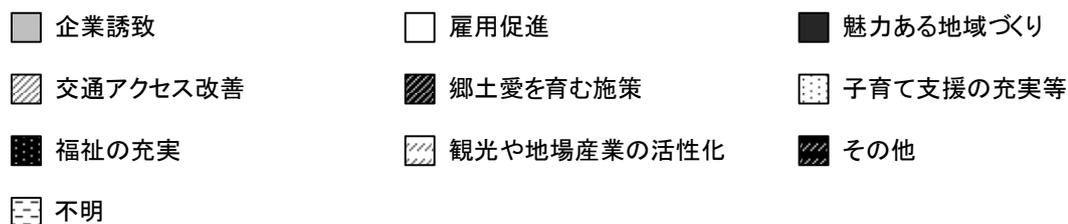
問9 あなたは、人口減少・人口流出を防ぐためにどのような施策に力を入れるべきだと思いますか？
あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 企業誘致 | 6. 子育て支援の充実等 |
| 2. 雇用促進 | 7. 福祉の充実 |
| 3. 魅力ある地域づくり | 8. 観光や地場産業の活性化 |
| 4. 交通アクセス改善 | 9. その他 () |
| 5. 郷土愛を育む施策 | |

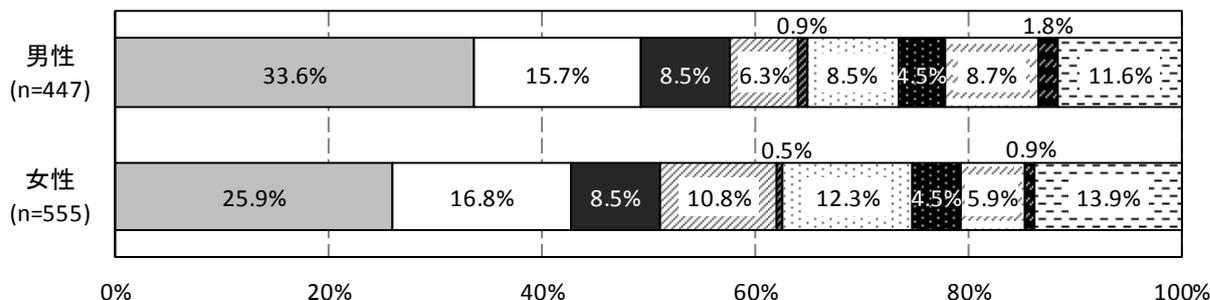
人口減少・人口流出を防ぐための施策について、「企業誘致」が29.2%と最も多く、次いで「雇用促進」(16.4%)、「子育て支援の充実等」(10.5%)の順となっている。

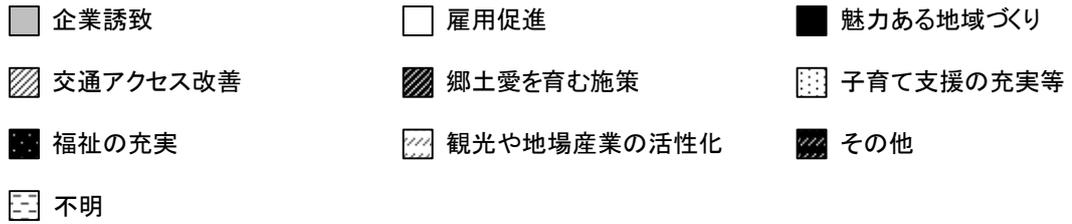
男女別にみると、男性では「企業誘致」が女性より7.7ポイント、女性では「交通アクセス改善」が男性より4.5ポイント、「子育て支援の充実等」が3.8ポイント上回っている。

年代別にみると、18～19歳では「魅力ある地域づくり」、20～29歳では「交通アクセス改善」、30～39歳では「子育て支援の充実等」、50～59歳では「雇用促進」が他の年代より高めとなっている。

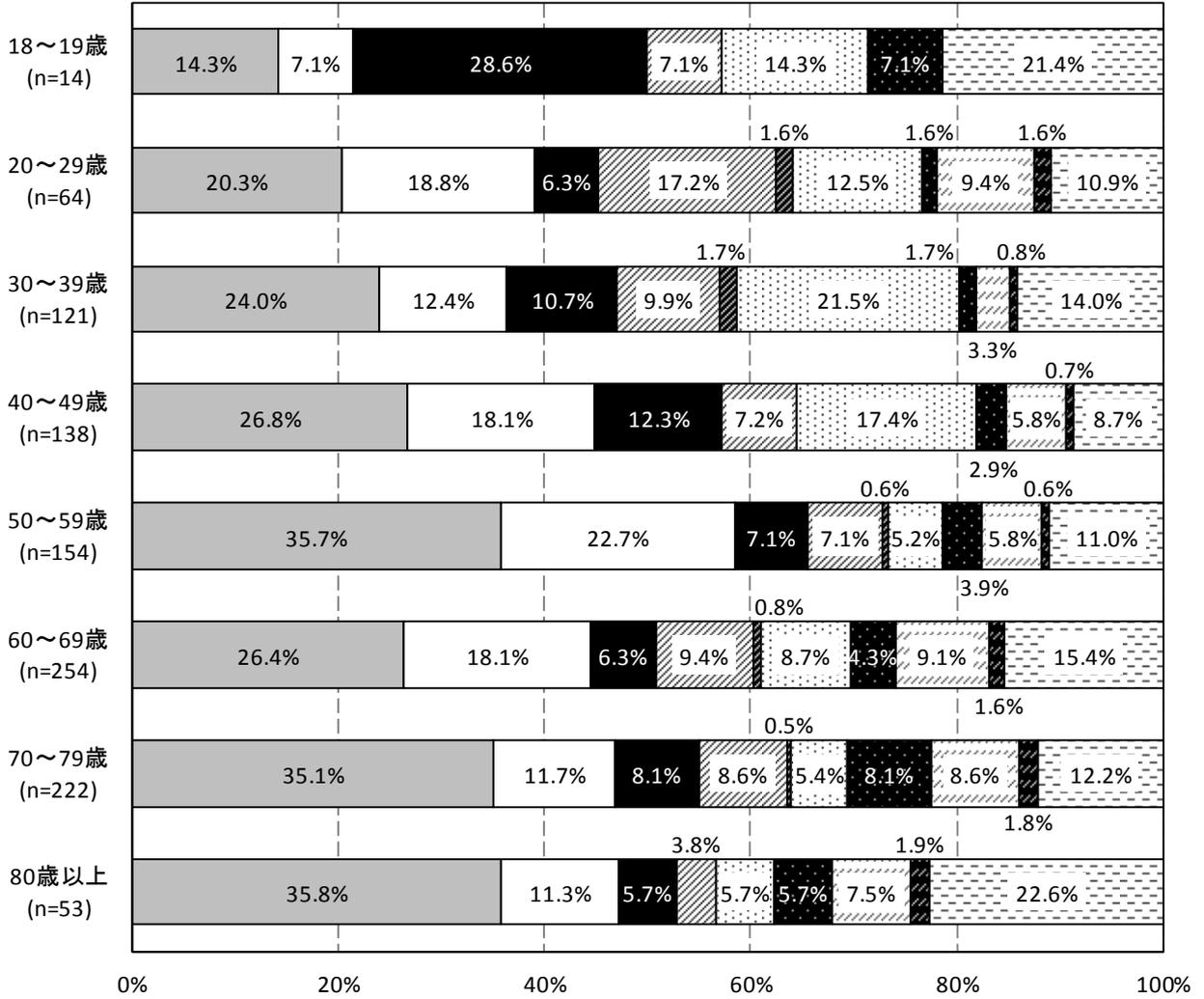


<男女別>





<年代別>



その他：「教育の充実」、「安定した雇用」、「まちの活性化」など

問 10 和歌山市への定住意向

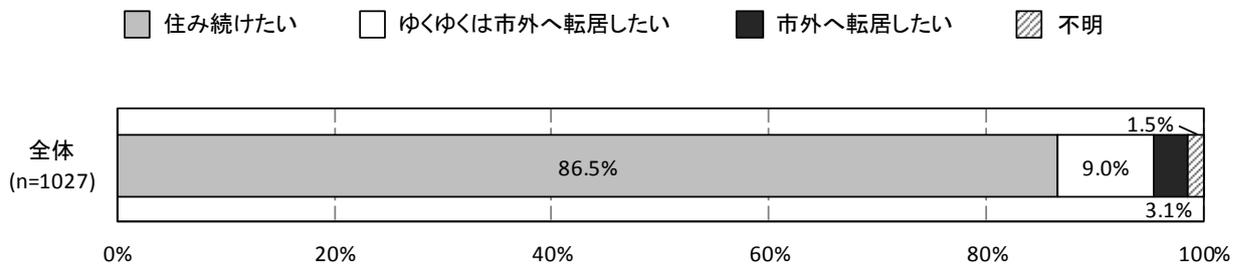
問 10 あなたは、今後も和歌山市で住み続けたいと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 住み続けたい
- 2. ゆくゆくは市外へ転居したい
- 3. 市外へ転居したい

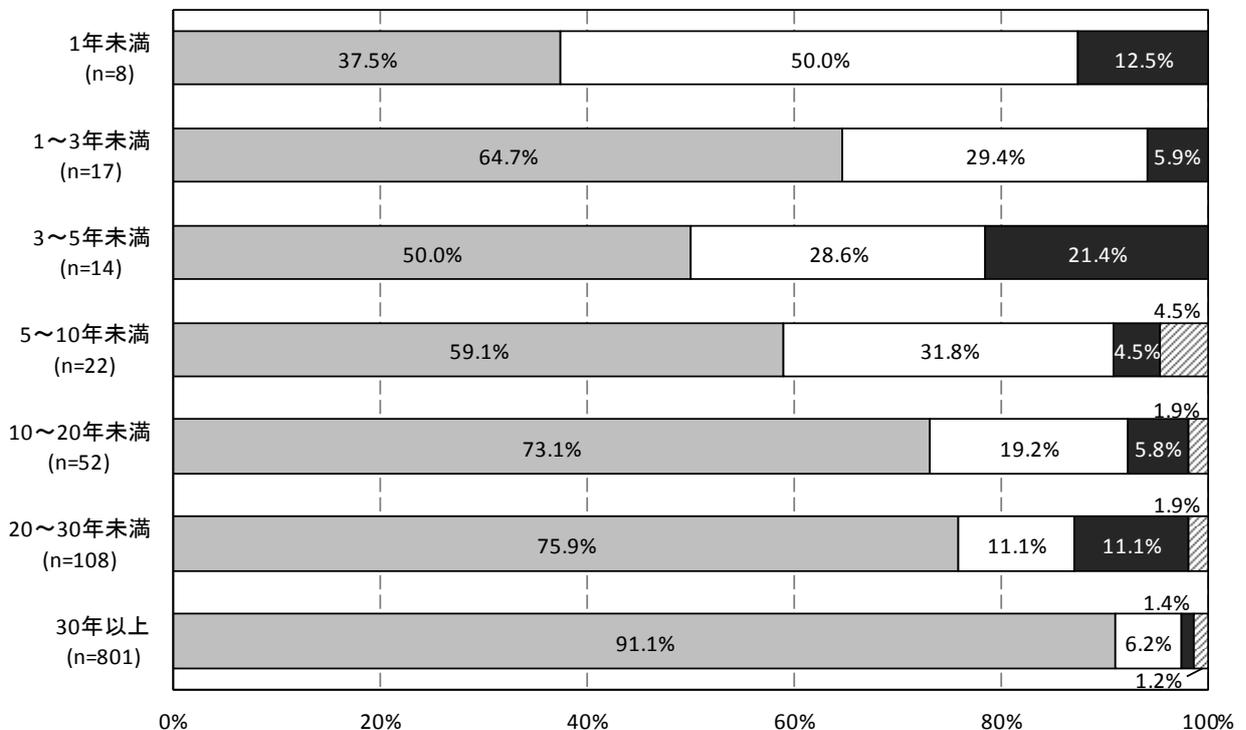
和歌山市に住み続けることについて、「住み続けたい」が86.5%と半数を超えている。「ゆくゆくは市外へ転居したい」が9.0%、「市外へ転居したい」が3.1%となっている。

住居年数別にみると、1年以上で「住み続けたい」が半数以上となっているが、1年未満、3～5年未満で「ゆくゆくは市外へ転居したい」、「市外へ転居したい」の計が高めとなっている。

年代別にみると、いずれの年代も「住み続けたい」が半数以上となっているが、年齢が低いほど「ゆくゆくは市外へ転居したい」、「市外へ転居したい」が多い傾向にある。

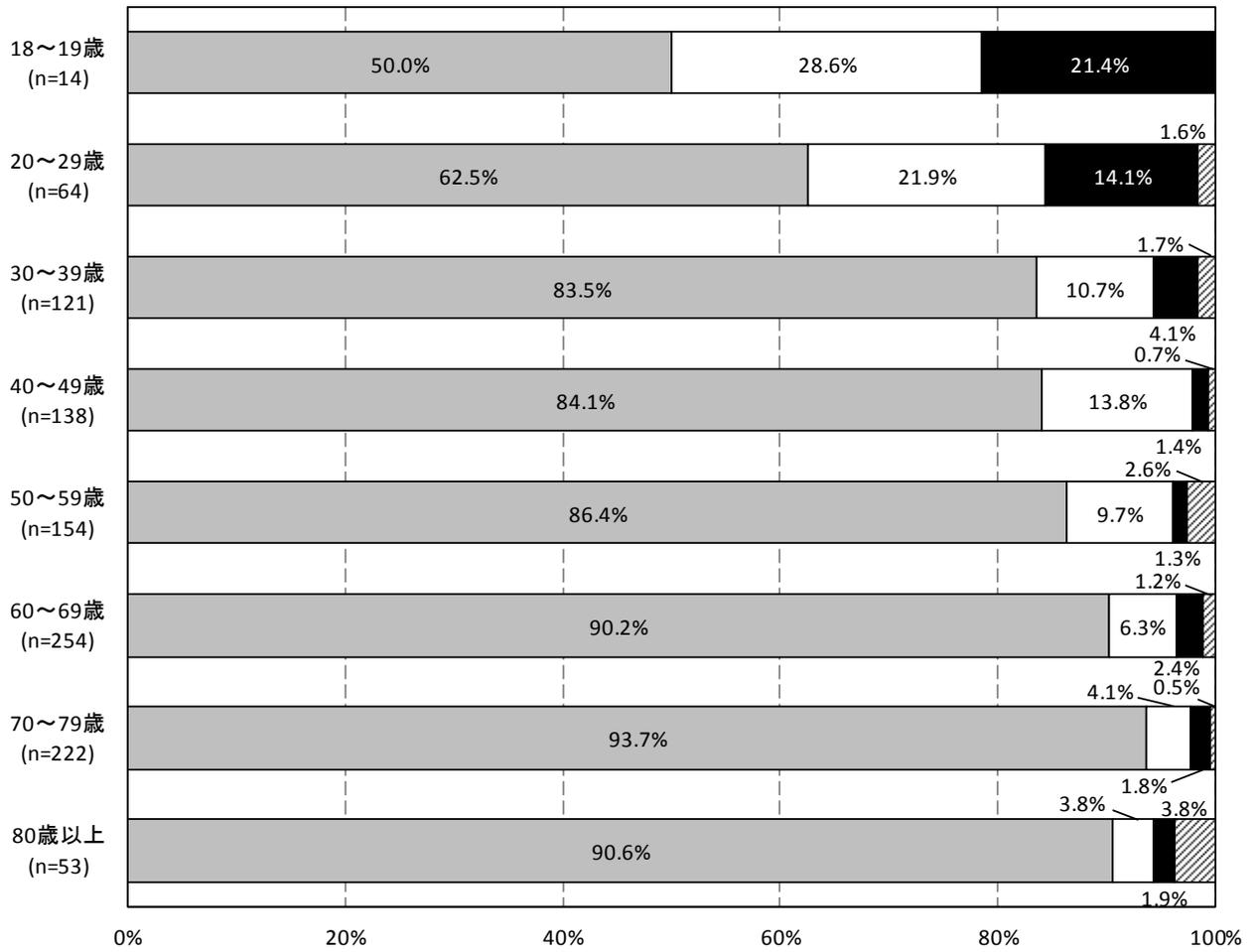


<住居年数別>



住み続けたい
 ゆくゆくは市外へ転居したい
 市外へ転居したい
 不明

<年代別>



問 10-3 転居で優先するもの

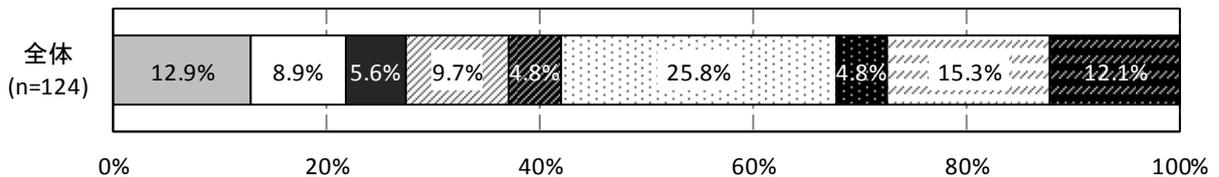
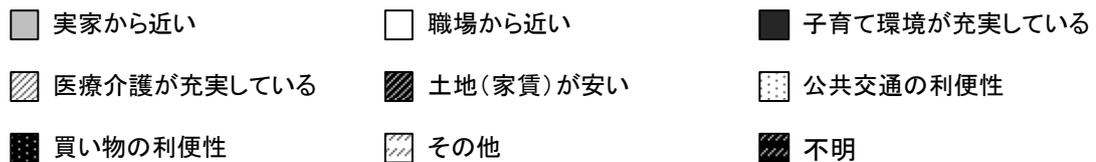
問 10-3 問 10 で「2. ゆくゆくは市外へ転居したい」「3. 市外へ転居したい」と回答された方のみお答えください。転居する場合、優先するものは何ですか？あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 実家から近い | 5. 土地（家賃）が安い |
| 2. 職場から近い | 6. 公共交通の利便性 |
| 3. 子育て環境が充実している | 7. 買い物の利便性 |
| 4. 医療介護が充実している | 8. その他（ ） |

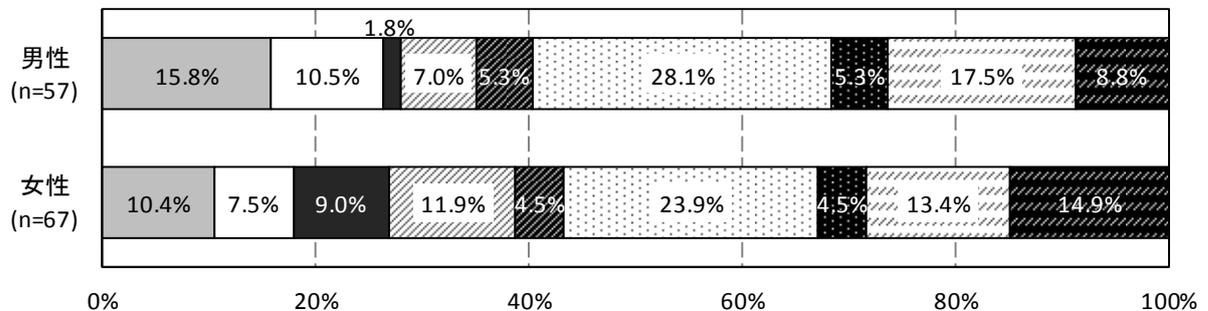
問 10 で「2. ゆくゆくは市外へ転居したい」「3. 市外へ転居したい」と回答した 124 人について、転居する場合優先するものは、「公共交通の利便性」が 25.8%と最も多く、次いで「その他」(15.3%)、「実家から近い」(12.9%)の順となっている。

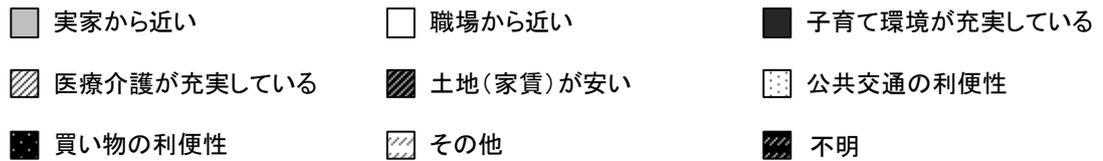
男女別にみると、男性は「実家から近い」が女性より 5.4 ポイント、女性は「子育て環境が充実している」が男性より 7.2 ポイント上回っている。

年代別にみると、20～59 歳、70 歳以上で「公共交通の利便性」が多くなっており、18～19 歳で「職場から近い」、30～39 歳で「子育て環境が充実している」、50～59 歳で「医療介護が充実している」が他の年代より高くなっている。

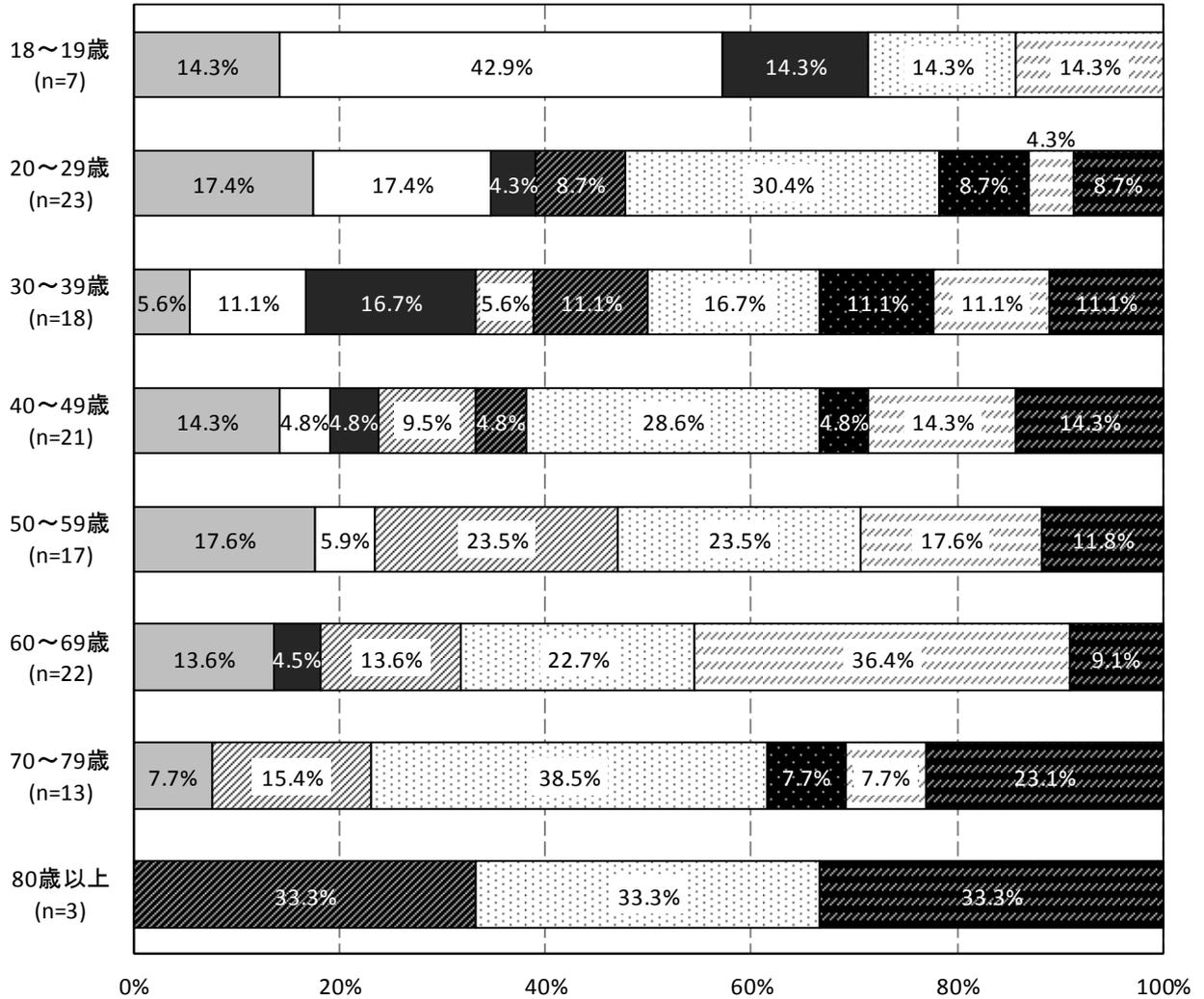


<男女別>





<年代別>



その他：「生活環境のよさ」、「実家または家族が他府県に住んでいる」など